

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日			記入者	内線 754-3604
部 名	生涯学習部	課 名	図書館	課長名	小林清志
事務事業名	図書館協議会事業				
予算上の事務事業名	図書館協議会経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			15110	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 生涯学習機会の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
図書館法 14条～16条 相模原市立図書館条例、同条例施行規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名			図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に意見を述べる機関として設置		
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者 各2名の計6名が外部の専門者として図書館運営に関し、意見、諮問を受ける。				図書館協議会委員	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
図書館協議会3回開催(7月、12月、3月) 会場は市立図書館・相模大野図書館 出席人数は7月は5名、12月・3月は6名					
主な審議事項 子ども読書活動推進計画について 市立図書館施設改修計画について 平成17年度図書館主要事業計画について 3館企画調整担当の設置、自主事業等図書館運営について					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県下他自治体の多くも協議会を設置しており、委員数、会議回数も当市はほぼ平均的である。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	177	202	215	227	227
一般財源	177	202	215	227	227
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	412	404	407	407	407
事業コスト合計(a)	589	606	622	634	634
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	図書館協議会事業			対象名称(単位)	審議件数(件)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	589	606	622	634	634
対象数	9	7	9	9	9
単位あたり経費(円)	65,444	86,571	69,111	70,444	70,444
前年度比		1.32	0.80	1.02	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	委員出席率（％）		指標式と指 標の説明	委員出席延べ人数÷委員全員出席数18人×100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	77.8	88.9	94.4		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	0.78	0.89	0.94		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	審議件数		指標式と指 標の説明	審議件数÷審議目標件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	9.0	7.0	9.0		
目標	9.0	7.0	9.0	9.0	9.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市内図書館3館の連携や子ども読書活動推進計画に基づく具体的な施策の展開、さらに合併に係る図書館行政の在り方など今後の方向性を検討するために識者等の意見が必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 短時間で必要事項の審議が可能となるよう、主となる審議項目に精通した委員の選任を検討する。			14 課題として認識されたこと 識者によって構成される本協議会の運営に、利用者の意見等を幅広く収集した情報を提供することが必要である。合併による委員の人数の見直しや選任方法などの検討が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			